

西宮が目指す教育の情報化 ver1.0

GIGA スクール構想

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する
- これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

ICT活用により目指す西宮の子供像

情報活用能力を身につけ、知識基盤型社会及び高度情報化社会で将来にわたって生き生きと活躍する子供

ICT活用により育成する資質・能力

ICT機器を活用し、自分の思いや考えを伝え合い、高め合う力
プレゼンテーションやコミュニケーション、コラボレーションを通して、協働して課題を解決する力

西宮市立
小・中・義務教育学校の
児童生徒全員に
1人1台の端末を

西宮市が貸与

Lenovo
ideaPadD330
10.1インチ
Webカメラ
キーボード分離可能

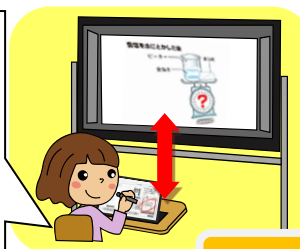


※特別支援学校は別途整備を進めています。

1人1台タブレット端末による学習

デジタル教科書・教材の有効活用

今までの指導者用デジタル教科書に加え、教科書のQRコードを即時に取り、デジタル教材等を活用できます。また、書き込みや消去を簡単に繰り返すことができるので、大型提示装置に表示することにより、考えを可視化し、議論を活性化するなど学習活動の充実につなげることができます。



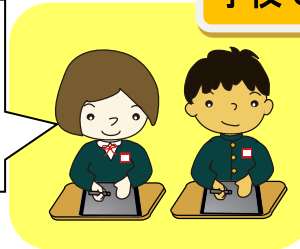
全員参加の学習へ

一人一人の考えを同時に共有することができるため、効果的な協働学習を行うことができる。
個人で作った物をリアルタイムでひとつにまとめてグループで資料を作成することもできます。

学校での活用

デジタルドリルによる個別最適化した学び

子どもたちの理解度に応じた問題に取り組むことや、振り返り学習が充実し、基礎学力の向上に繋がる。また苦手分野の解析により教師のきめ細やかな指導や支援を的確に行う手助けになります。

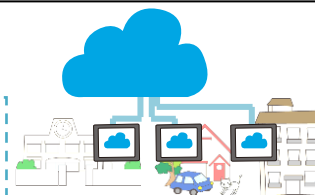


様々な場面での活用

教室での利用以外にも、カメラを利用したフォーム確認や、実験過程の振り返りや、定点観察によるコマ撮り動画の作成など、学校生活の中に新しい教具として入り込んでいきます。

家庭での活用について

デジタルドリルによる宿題や反復学習への取り組み。課題の作成。
アンケートや学校だより等の学校からの配布物のデジタル配信やオンラインでの回答や提出も可能としていきます。



非常時

臨時休業や
学級閉鎖など

オンライン



朝・夕の学活
連絡
健康観察
個人面談
学習内容の共有
課題の配布・提出
自主的反復学習
課題の作成

学校ならではの
「つながり」と
「学び」の継続

令和3年度

令和4年度

令和5年度

端末整備

令和3年1月～2月

導入期

活用に向けた試行と情報収集

改善期

基本的な活用スタイルの定着と諸課題の解決

充実期

活用の日常化と深まり 未来を見据えた検証の実施

家庭への持ち帰り

最低週1回

毎日